

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表: 令和3年3月29日

事業所: カメの子第2教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			設備基準では、24.7m ² 以上となっておりますが、1階・2階合わせて132.5m ² と十分な活動スペースを設けています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準以上のスタッフを配置しています。
	③	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、案事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			目的に合わせた用具、教具を配置しています。また、視覚的に分かりやすいよう、イラストを掲示しています。 安全のために、階段に手すりを設置しました。その他のバリアフリー化については、必要に応じて設置をいたします。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			定期的なミーティングと、隙間時間を利用して、情報交換に努めています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			日頃から保護者の意見に耳を傾けています。また、意見箱の設置を行っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自事業所ホームページにて公開をしています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価については、今後検討していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修費を事業所負担として、研修への参加を促しています。また、施設内研修を毎月実施しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			必要があれば当事業所にて心理テストを行い、学校、病院や教育委員会が行ったアセスメントも参考にしています。特にモニタリングでは、スタッフ間で支援会議を開き、協議の上で面談を行い、新しい個別支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			様々なニーズや課題に対応するためにアセスメントシートを新たに作成しました。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			スタッフ間で意見を出し合いながら活動計画を立てています。

⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			スタッフだけでなく、利用者、保護者の意見や要望も取り入れながら活動計画を作成しています。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			子ども一人ひとりに対する課題を設定して支援しています。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			一人一人の発達段階やニーズ等に合わせ、計画を作成しています。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に、スタッフ間で情報交換をしています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		営業時間・サービス提供時間の関係上、その日のうちに振り返りが難しい場合は、支援会議やミーティング、隙間時間や連絡ノートを活用して情報交換をしています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の支援日誌に加えて、利用者の良い面に着目した「きらりノート」を実施し始めました。

	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年ごとにモニタリングを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		担当スタッフの参加が難しい場合は、事前にミーティングを行い、会議参加スタッフへの情報共有を行っています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		今のところ、該当事例がありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		今のところ、該当事例がありません。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する	○			関係機関連携会議に出席し、情報共有を行っています。

者との連携		場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	障がいについての告知を受けていない児童や、障がい児のための事業所に通っていることを地域住民に知られたくない方への配慮が必要なため参加しておりません。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		○	今後の課題として、検討してまいります。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	必要に応じて専門機関を紹介します。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	コロナ禍にあり開催が難しい面もございますが、ご要望があれば検討したいと思います。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		ご意見・苦情があった際には、それを真摯に受け止め、スタッフ会議にて検討・協議の上、回答させて頂いております。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		適宜メールや LINE、お便りにて連絡をしています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報が含まれる書類は、直接目に触れないよう努め、また不要になった書類はシュレッダーで裁断しています。また、個人情報が含まれる書類の保管場所については、鍵のかかるロッカーで管理しています。

	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしているか	○		一人ひとりに分かりやすい様、説明の仕方を工夫しています。また、視覚的な配慮を心掛けています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○ 障がいについての告知を受けていない児童や、障がい児のための事業所に通っていることを地域住民に知られたくない方への配慮が必要なため、むしろ開かれた運営は図っておりません。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	教室内に掲示しております。今後は、分かりやすい場所に掲示を致します。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回避難訓練、および防災研修を行っています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部研修への参加、および施設内研修を行い、虐待防止に努めています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	現時点では、対象となる児童がいません。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		

2021. 3現在